

決定！第37回(令和2年度)

うつのみやこども賞

『ぼくたちの緑の星』

みどり ほし
こでまり
小手鞠るい／著 (童心社)

【あらすじ】

ぼくたちは、名前を失いかけていた。大切にしていたものや、大好きなものや、家族や友だちを失いかけていた。一つの大きな「ゼンタイ・モクヒョウ」に向かって「ジュウゾク」させられていた。なぜ、こんなことが起こっているのか、わからなかった。なんのために生きているのか、わからないまま生きていた。名前ではなく番号で呼ばれる灰色の世界を舞台に、大切なものを守るために何ができるかを問う少年少女向け SF 小説。

～選定委員の感想より～



- 空良たちがいた星は地球の昔の姿か、未来の姿か。また、「全体目標」のために心をうばっていくことは必要なのか、と自分たちのことも考えさせてくれる。やっぱり戦争はこわい。
- 次々と禁止されて、色をなくしていく生活。平和な緑の星「地球」であるためにしっかり考えなきゃと思った。
- 戦後75年という節目だから戦争にもっと目を向けてほしいと思った。

うつのみやこども賞とは？

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。今年度は、14名の子ども達が選定委員として頑張ってくれました。みなさんもぜひ読んでみてください。

一年間に読んだ図書一覧

実施回数	月の本	タイトル	著者
第1回		はじめまして、茶道部！	服部千春
		とりかえっこ	泉啓子
		ずっと見つめていた	森島いずみ
第2回	○	朝顔のハガキ	山下みゆき
	○	アリババの猫がきいている	新藤悦子
		県知事は小学生？	濱野京子
第3回		ごきげんな毎日	いとうみく
		ぼくと母さんのキャラバン	柏葉幸子
	○	魔女ラグになれた夏	蓼内明子
第4回		本能寺の敵	加部鈴子
		ポシーとポパー	オカザキヨシヒサ
		イケてる！ろくろ首！！	丘紫真璃
第5回		その声は、長い旅をした	中澤晶子
		雷のあとに	中山聖子
	◎	ぼくたちの緑の星	小手鞠るい
第6回		天邪鬼な皇子と唐の黒猫	渡辺仙州
	○	ラグリマが聞こえる	ささぐちともこ
		はじまりの夏	吉田道子
第7回		ザンドイッチクラブ	長江 優子
	○	あの子の秘密	村上雅郁
		赤毛証明	光丘真理
第8回		まほろぼトリップ	倉本 由布
		氷室のなぞと秘密基地	中谷 詩子
		てっぺんの上	イノウエミホコ
第9回		ギフト、ぼくの場合	今井 恭子
		スイマー	高田由紀子
	○	ハジメテヒラク	こまつあやこ
第10回	○	ドーナツの歩道橋	升井純子
		大嫌いな君に、サヨナラ	いかだかつら
	○	マギオ・ムジーク	仁木 英之
第11回		世界とキレル	佐藤まどか
	○	山のうらがわの冒険	みお ちづる
		あおいの世界	花里真希
第12回		団地のコトリ	八東澄子
		トッبران	つげみさお
	○	白き花の姫王	みなと 重
第13回		江戸の空見師 嵐太郎	佐和みずえ
		イズナくんは、今日も	櫻 いいよ
		キャンドル	村上 雅郁